



取扱説明書



当製品を安全に、また正しくお使いいただくために必ず本取扱説明書をお読みください。お読みになった後も必ず保存してください。

機種名

MC303AHYB1

マメトラ管理機



マメトラ農機株式会社

はじめに

マメトラ管理機をお買い上げいただき ありがとうございます。

この取扱説明書は「管理機」の取扱方法と使用上の注意事項について記載してあります。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。

お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。

製品を貸与される場合は、この取扱説明書を添付してお渡してください。取扱説明書を紛失、汚損された場合は当社又は当社の特約店に連絡してください。

なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。


ご不明のことやお気付きの点がございましたが、お買い上げいただきましたお近くの特約店・販売店にご相談ください


本書に記載した注意事項や機械に貼られた▲の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。


なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

◆注意表示について

本取扱説明書では、特に、重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

 **危険** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

 **警告** その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

 **注意** その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。

サービスと保証について

☆保証書について

「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

☆アフターサービスについて

機械の調子が悪いときに点検、処置しても、なお不具合があるときは、お買い上げいただいた販売店、農協、お近くの当社営業所までご連絡ください。

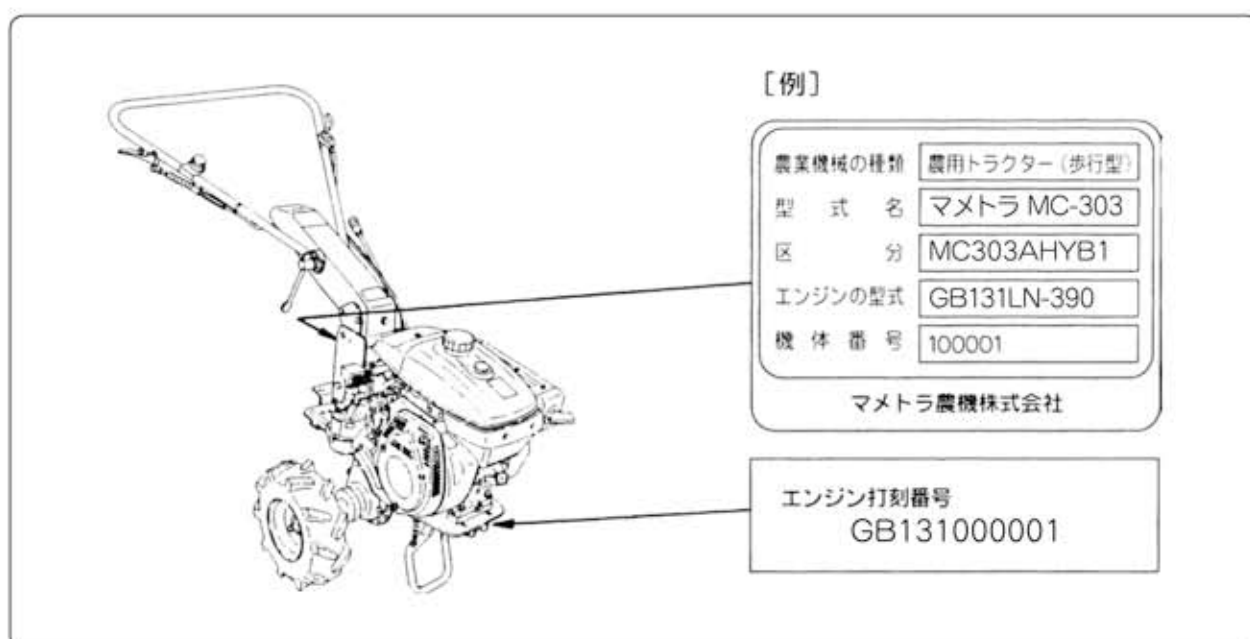
連絡していただきたい内容

- 型式名・区分
- 機体番号・エンジンの場合エンジン番号
- 故障内容（できるだけ詳しく）

☆補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限(期間)は、製造打ち切り後9年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、納期および価格についてご相談させていただきます。



☆取扱説明書について

本機取扱説明書を紛失・破損した場合はコードNo.124 9003 002でご注文ください。

目次

●はじめに	I
●サービスと保証について	II
●目次	1
1 安全作業のための心得	2
2 安全標識貼付位置	6
3 各部の名称と機能	8
4 運転開始前の準備と注意	10
5 さあ、運転開始です	13
5-1 エンジン始動のしかた	13
5-2 発進のしかた	15
5-3 変速のしかた	16
5-4 旋回のしかた	16
5-5 駐・停車のしかた	17
5-6 トラック等への積込みと積降しのしかた	17
5-7 エンジンの停止のしかた	18
6 作業が終わったら、必ず手入れを	19
6-1 作業をしたら、そのたびに手入れを	19
6-2 定期点検と整備	19
(1) エンジンオイルの点検と補給	20
(2) エンジンオイルの交換	20
(3) ミッションオイルの交換	21
(4) エアクリーナの手入れ	22
(5) ストレーナの手入れ	23
(6) 燃料パイプの交換	23
(7) 点火プラグの調節と交換	24
(8) レバー類作動の点検と調整	24
(9) ハンドルの上下調整	26
(10) 注油	27
(11) ベルトの交換	27
(12) タイヤの空気圧の調整	27
(13) 車輪の交換と車輪幅の調節	27
7 長期間使用しないときの格納のしかた	28
8 機械が不調な場合の対策	30
9 標準付属品、オプション部品、消耗品	32
●電気配線図	34
10 特長	35
11 仕様	36
●安全説明確認カード	

1 安全作業のための心得

■本機を使用するにあたって

使用する人の条件

次のような項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき
- 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により正常な運転ができないとき
- 妊娠しているとき
- 子供の方
- 取扱方法を熟知していない人



使用する人の服装

機械に巻き込まれる事故を予防するため、はち巻き・首巻き・腰タオルをしないでください。また、滑って転倒する事故を防止するため、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、作業に適した、だぶつきの無い服装をしてください。



服装や体の調子に注意

機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明し、使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。



機械の改造厳禁

機械の改造や指定以外のアタッチメントを取付けしないでください。また、機械を改造しないでください。



■点検整備をしてください

1年毎に定期点検整備を

機械の整備不良による不具合や事故を予防するために、1年毎に定期点検・整備を受け各部の保守をしてください。特に燃料パイプや電気配線は、2年毎に交換して、機械が最良の状態で、安全に作業ができるようにしましょう。



点検・整備を忘れずに

ご使用になる前と後には必ず点検・整備をおこなってください。特に、クラッチ・レバーなどの操縦装置は、確実に作動するように点検・整備してください。



■点検整備をしてください

点検・整備掃除をするときは

点検・整備、またはアタッチメントの脱着・掃除をするときは、交通の危険がなく、機械が転倒したり動いたりしない平坦で安定した場所を選び、エンジンを止めてください。また、誤ってエンジンが始動することのないよう燃料コックを閉にし、完全な停止状態で加熱部分が十分に冷めていることを確認してからおこなってください。



排気ガスには十分に注意

エンジンは、屋内及び換気の悪い所では運転しないこと。排気ガスによる中毒の恐れがあります。エンジンの始動は、風通しのよい場所でおこなってください。



カバー類は必ず取付ける

ヘルムカバーなどの防護装置を取外す場合は、必ずエンジンを止め、完全な停止状態を確認してからおこなってください。また、取外したカバー類は必ず元どおりに取付けてください。



給油・注油するときは

エンジン回転中やエンジンが熱い間は、火傷や火災の危険がありますので絶対に給油・注油はしないでください。また、給油中はタバコや裸火照明などの火気は厳禁です。



エンジンが熱い間は注油・給油はしないで



長期格納するときは

火災などを予防すると共に、燃料の変質による不具合を防止するために、燃料タンク・気化器内燃料を抜きだして保管してください。



人や動物を近づけない

特に移動または作業中には子供に十分注意し、近づけないようにしてください。

エンジンの始動や発進するときには

クラッチを[切]り、変速レバーを[止]にし、周囲の人に合図してからエンジンを始動してください。周囲の人に危害を加えたり転倒や衝突したりしないように周囲の安全を確かめ、急発進しないように徐々に発進してください。

1 安全作業のための心得

■作業・移動をするとき

二人以上で作業するときには

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確かめ合いながら作業してください。

ベルトを交換したり、爪を交換するとき、巻き付いた草などを取除くときは

必ずエンジンを止めてからおこなってください。



回転している爪には十分気をつけて

回転する爪に巻き込まれると重傷を負うことがあります。特にロータリ作業では、ハンドル部を持上げて旋回するので足元には十分に気をつけてください。



ロータリ作業や車軸作業では機械の飛び出し(ダッシング)に注意

ロータリ作業や車軸作業中、地面が固かったり石を噛んだ場合、またはロータリを急激に地面に降ろしたりすると、回転する爪の勢いで機械が思わぬ方向に飛び出す(ダッシング)ことがありますので十分に注意してください。

特に、川や崖、人のいる方向に飛び出すと転落や人身事故を招く恐れがあります。



機械から離れるときには

機械から離れるときには、平坦で安定した場所におき、エンジンを止め、各部が完全な停止状態になっていることを確認してください。やむを得ず傾斜地に置くときは、必ず車止めをしてください。



後進しながら作業するときは

転倒しないように足元に十分に注意し、後方に障害物がないか確認して後方の障害物と本機との間に挟まれないようにしてください。特に、ハウス内では、壁や支柱との間に挟まれたりすることの無いようにしてください。

ロータリ部が作業者の直前に来るような後退作業は危険です。ハンドルを180°回転して作業をしてください。



移動するときは

坂道・凸凹の激しい道・曲がり角・そばに溝がある道・路肩の弱い道などでは、スピードを落とし、最も安全に通行できるところを選んで通ってください。また、焚き火や排ワラを燃やしている近くは走行しないでください。事故や火災の原因となります。



■点検整備をしてください

急な発進・停止・旋回、スピードの出しすぎ 禁止

スピードを出しすぎたり、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけではなく、機械の寿命も縮めますのでおこなわないでください。



わき見運転・片手運転禁止

ハンドルやクラッチは正しく操作し、わき見や片手での運転はしないでください。



坂道では

坂道では、機械が思わぬ方向に旋回してしまうことがありますので、ハンドルをしっかり持って方向転換をしてください。



溝や畦を横断したり、軟弱な場所を通るときには

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が十分あり、表面がすべらないように処理してあるアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。

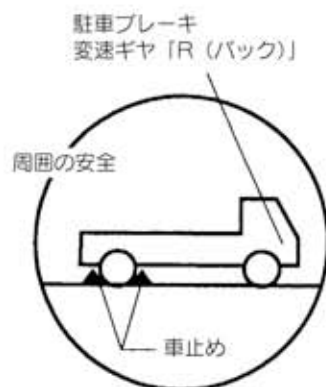
もし、落ち込んだ場合には、無理に脱出しようとせず、先ず状況を判断して適切な処置を巧じてください。



トラックなどに積込み・積降しするときは


平坦で交通の安全な場所で、トラックなどが移動しないようにエンジンを止め、サイドブレーキをかけ車止めをし、幅・長さ・強度が十分あり、表面がすべらないように処理してあるアユミ板をかけ、最低速度でおこなってください。

また、登るときには前進、降りるときには後進でおこなってください。さらに、積込んだときには、本機に歯止めをし、十分に強度のあるロープでトラックに確実に固定してください。



2 安全標識貼付位置

安全に作業していただくために、ぜひ守っていただきたい注意事項は、安全五憲章や▲付ラベルのとおりです。

▲ 警告

<p>後進時、ハンドルが意外と跳上り、足元が危険です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 後方に障害物がない事を確認する。 ● 主クラッチが何時でも切れる様身長に合わせてハンドルの調節をする。 ● エンジン回転数を下げてゆっくり後進する。 ● 抵抗棒等は土から完全に抜かないこと。

8MA 0084 000

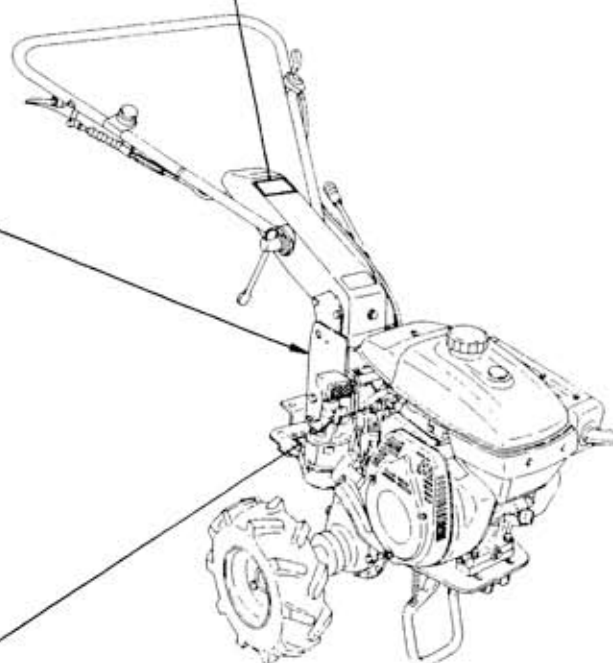
耕うん・管理機 + 安全五憲章

1. 道路走行・圃場の出入り・車への積降ろしの際は必ずロータリの回転を止めます。
2. 圃場を走行するときは、スピードを落とし路肩に注意します。
3. 圃場の出入り・車への積降ろしは上りは前進、下りは後進で行います。
4. バックをするときはスピードをゆるめ背後の障害物に注意します。
5. 機体の点検・調整・整備は必ずエンジンを止めてから行います。この機械をお使いになるときは復唱してください。

8MA 0009 000

▲ 警告	<p>PTO軸を使用しない場合は、シールドキャップを必ず取りつけてください。</p>
------	--

8MA 0063 000



停止ボタン

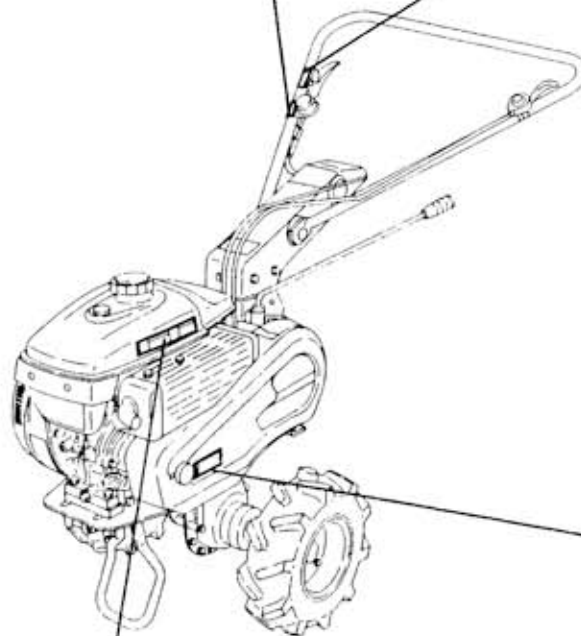
ワンタッチ

8MA 0149 000

警告

エンジンを始動する時は主クラッチレバーを必ず「切」にすること。




8MA 0007 000



注意

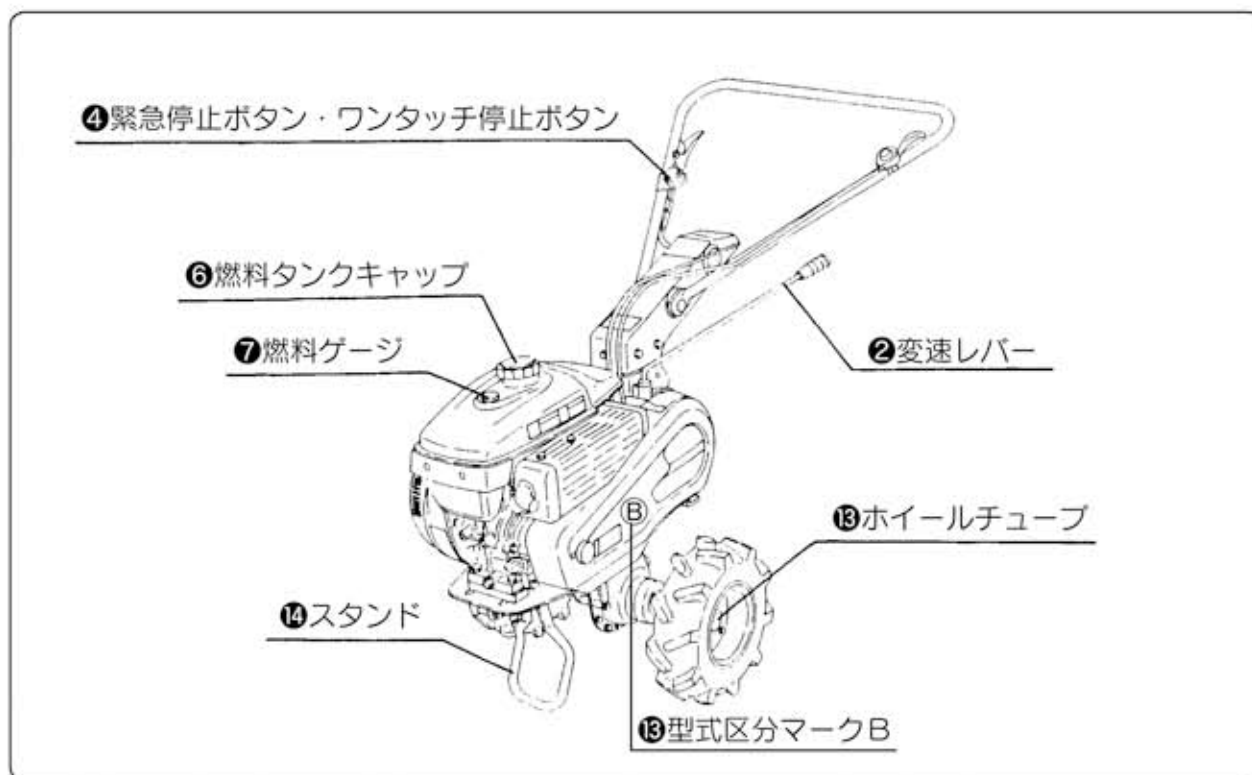
カバーの取り付け、取り外しは、必ずエンジンを停止して行うこと。

8MA 0518 000

注意	警告	危険	無鉛ガソリン
マフラー高温注意  さわるとやけどをするおそれがあります。	排ガスに注意  室内や換気の悪い所での運転は人体に有害で危険です。	火気厳禁  給油時エンジン停止 火災の危険あり。 給油口に火を近づけないこと。	

部品番号 KW56256AA

3 各部の名称と機能



① 主クラッチレバー

レバーを握るとクラッチが「入」ります。
レバーを離すとクラッチが「切」れます。

② 変速レバー

走行速度の変速に用います。

③ ハンドル上下クランプレバー

ハンドルの上下調節時に使います。

④ 緊急停止ボタン・ワンタッチ停止ボタン

ボタンを押すとエンジンは停止します。
緊急時、エンジン停止兼用。

⑤ スロットルレバー

レバーを内側に回すとエンジンの回転が上がり「H」、外側に回すとエンジンの回転が下がり「L」になります。

⑥ 燃料タンクキャップ

自動車用レギュラーガソリンを使用します。

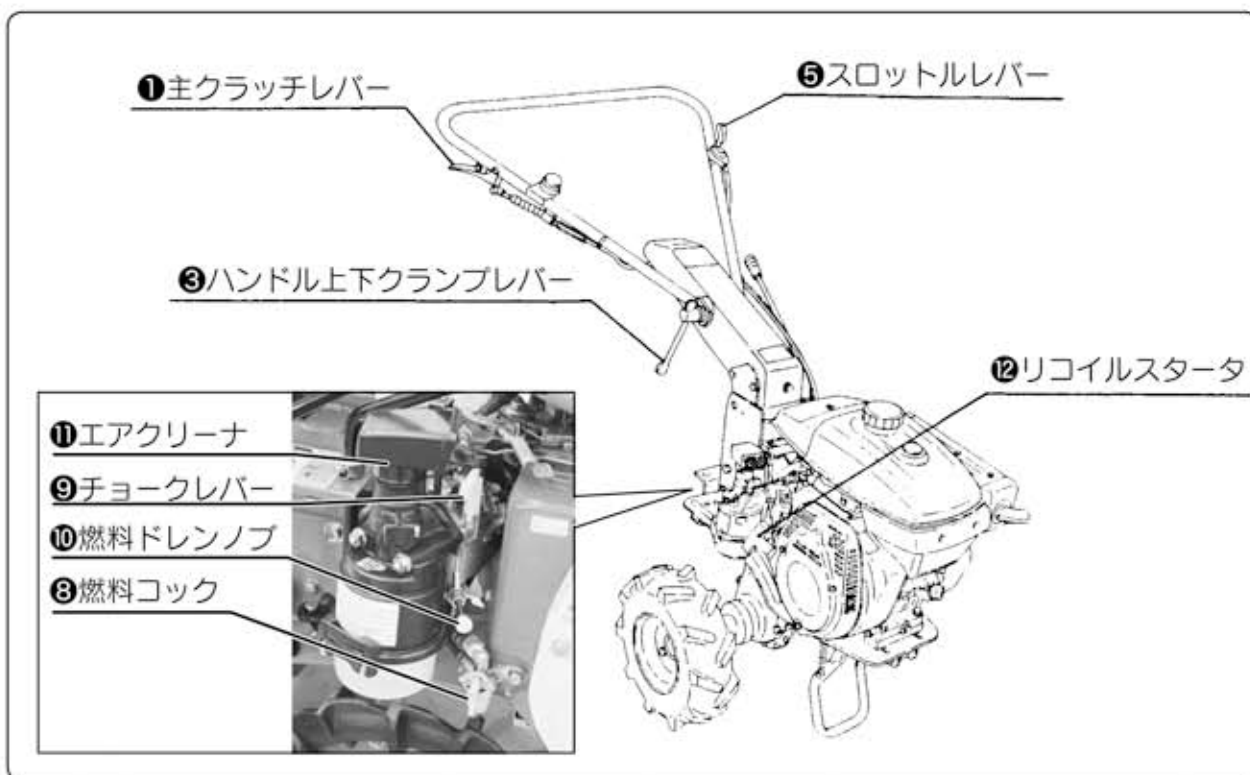
⑦ 燃料ゲージ

⑧ 燃料コック

燃料の開閉に使用します。

⑨ チョークレバー

エンジン始動時に使用します。



⑩燃料ドレンノブ

気化器内及び燃料タンクの燃料を抜くのに使用します。

⑪エアクリーナ

ホコリの少ない方向に吸入口を向けてください。

⑫リコイルスタータ

エンジンの始動に使用します。

⑬ホイールチューブ

輪距が変更されます。

⑭スタンド

⑮型式区分マーク・B

4 運転開始前の準備と注意

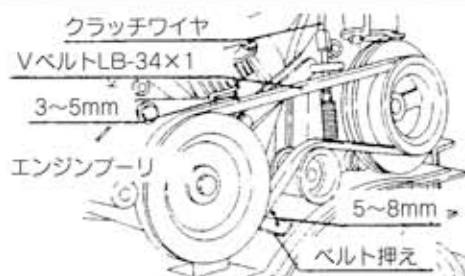


警告

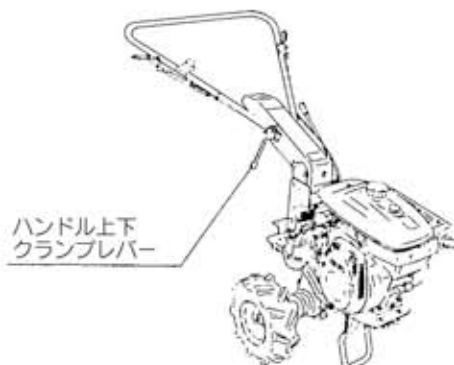
- ★点検・整備をおこなうときは、必ずエンジンは停止してください。
- ★エンジンが熱い間は、注油、給油は絶対にしないでください。
- ★燃料を補給するときは、火気を絶対に近付けないでください。
- ★取外したカバー類は、必ず取付けてください。

次の順番で点検と処置をおこなって、快適で安全な作業をおこないましょう。

- ①作業の種類に従って、走行速度を選ぶために、ベルトの掛替えをおこなってください。
- ②走行用ベルトの摩耗や損傷ならびにゆるみがあれば、調節や交換をしてください。

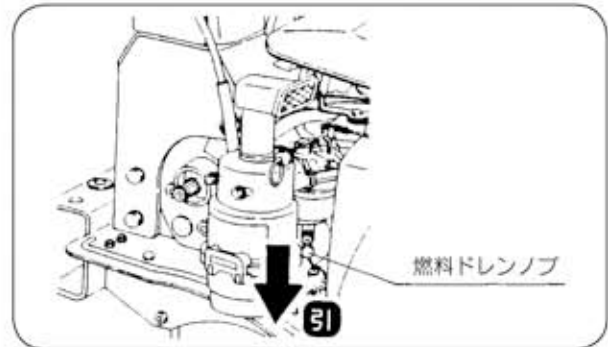


- ③ハンドルを作業者の背および作業の種類に合わせて、ハンドルを上下クランプレバーによって最も操作しやすい位置に調整してください。

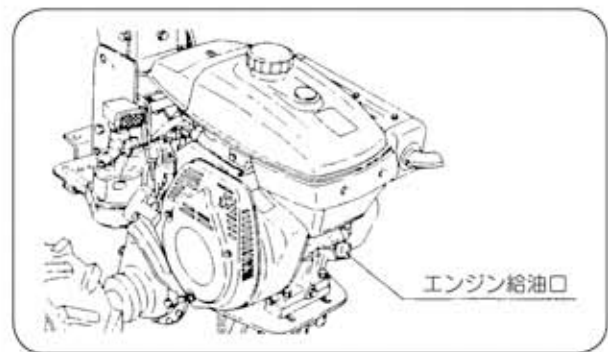


- ④燃料タンクに必要な燃料を十分に入れて、燃料がキャブレター（気化器）まで円滑に流れていることを確かめてください。

⚠ 火気厳禁

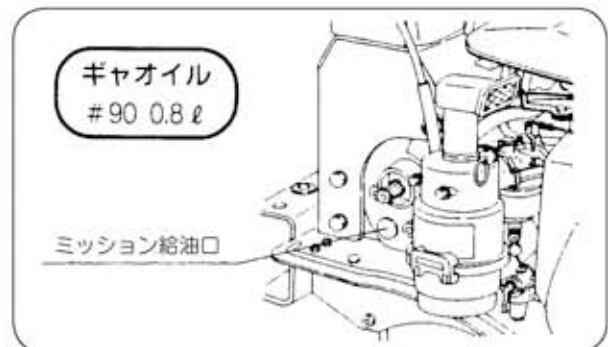


- ⑤始動の前にエンジンオイル、ミッションオイルの油量を確かめてください。
冬期間、寒冷地等で始動が困難なときは、エンジンオイル10W、30#を使用してください。
また、エアクリーナにも規定量のオイルを入れてください。

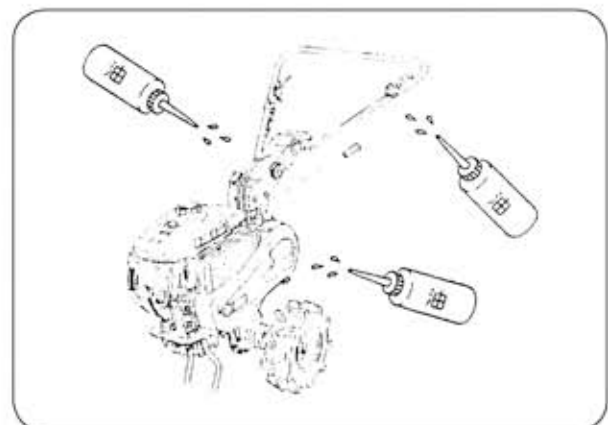


警告

★工場より出荷時にはミッションオイルは入れてありますが、もう一度ご確認ください。

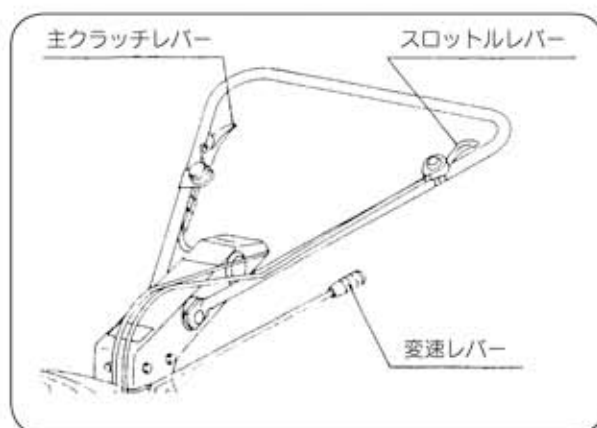


- ⑥エアクリーナが汚れているときは洗浄してください。
- ⑦すべてのワイヤやレバー等の支店や可動部に注意して円滑に作業するようにしてください。

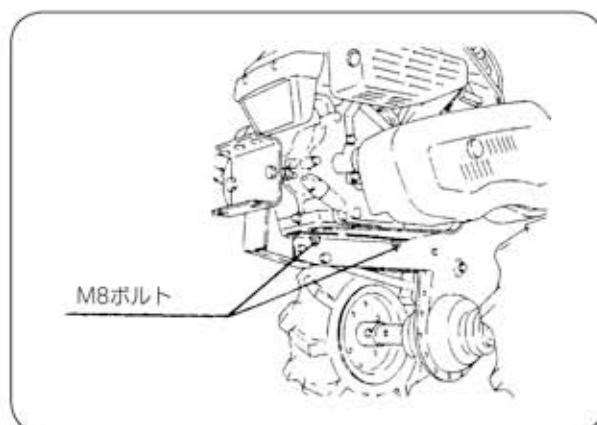


4 運転開始前の準備と注意

- ⑧主クラッチレバー、変速レバー等が正しく作動するかどうか確認してください。



- ⑨エンジンの締付ボルト等の重要なボルトは増締めしてください。ボルト、ナットの脱落の有無を点検してください。



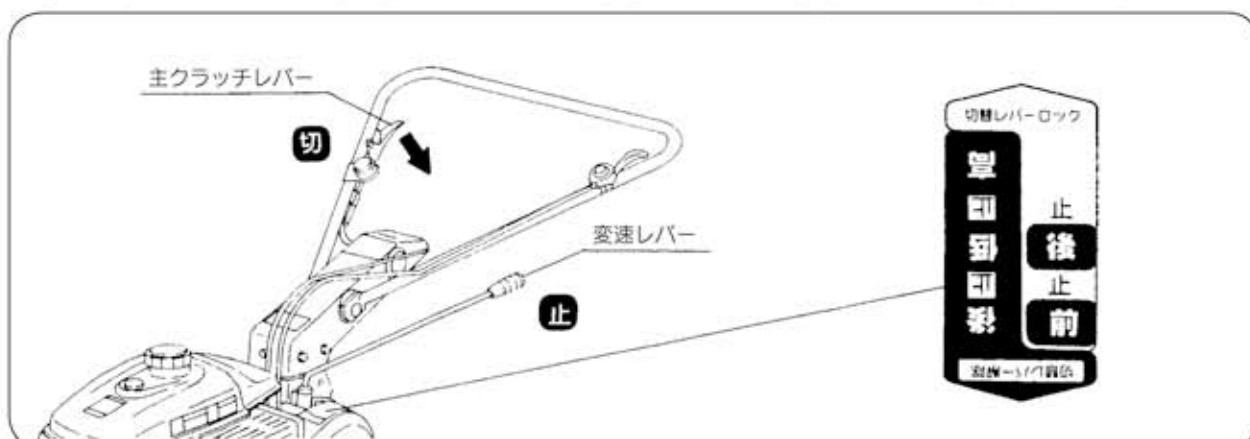
5 さあ、運転開始です



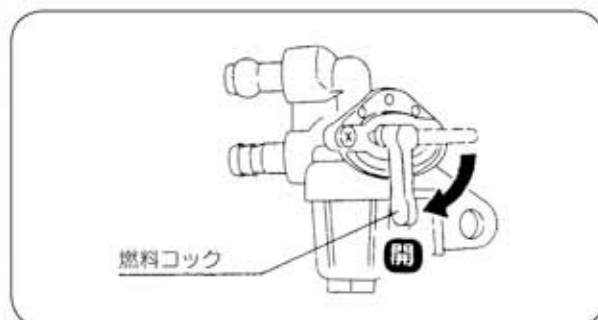
- ★周囲の安全を確かめて、発進してください。
- ★坂道や凸凹、カーブの多い圃場では、高速運転はしないでください。
- ★傾斜地では、変速しないでください。
- ★機械の前方、側方には、人等を近付けないようにしてください。
- ★運転中は、エンジンの高圧線や点火プラグキャップ部に触れると、電気ショックを受ける危険があります。

■5-1 エンジン始動のしかた

- ①主クラッチレバーは [切] (離す) 位置に、変速レバーは [止] 位置にしてください。



- ②燃料コックを開いてください。

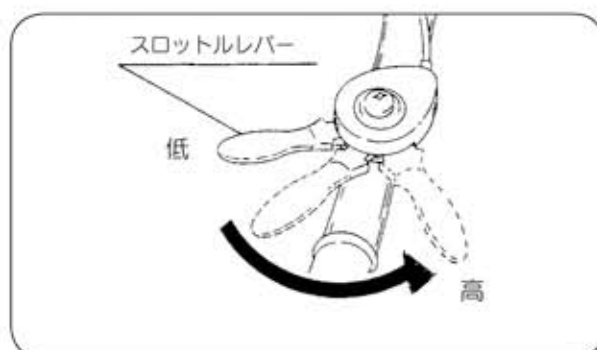


- ③外気温がおよそ15℃以上の時にはチョーク操作は不要です。それ以下の時にはチョークレバーを全閉にします。

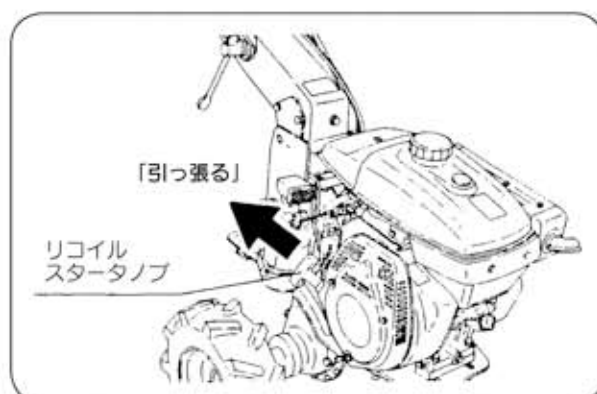


5 さあ、運転開始です

- ④スロットルレバーを【高(H)】のほうに少し開く。



- ⑤リコイルスタータを圧縮のあるところまで軽く引き、この位置から勢いよく引っ張る。エンジンが始動したらチョークを徐々に元の位置にもどします。(リコイルスタータを1~2回操作しても始動しないときは、そのまま何回も引っ張っていると燃料の吸いすぎとなり、始動が更に困難となりますのでチョークを元の位置にもどして、リコイルスタータを引っ張ってください)



- ⑥エンジンの調子を見ながら、チョークレバーを徐々にもどして、チョークを開いてください。
- ⑦エンジンが始動したら、負荷を掛けずにエンジンを掛けたまま、5分内外、暖気運転をしてください。



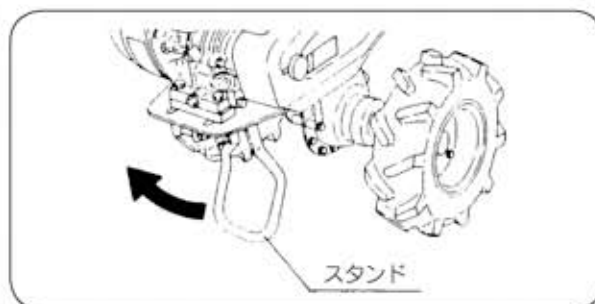
■5-2 発進のしかた



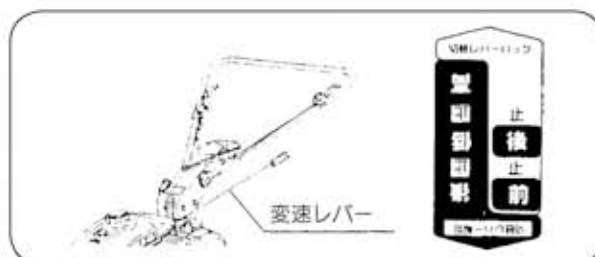
警告

- ★発進するときは、他の人を本機に近付けてはなりません。
- ★本機の周りに物を置かないでください。

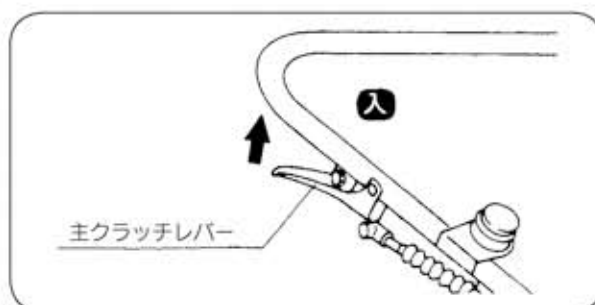
① スタンドを上げてください。



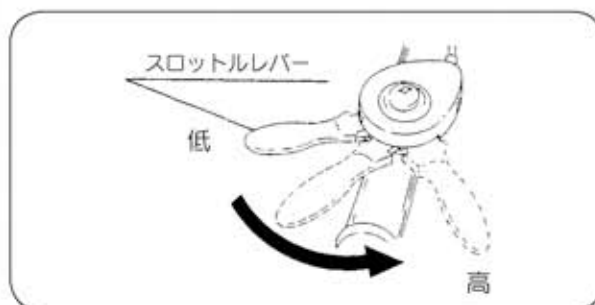
② 変速レバーを希望の速度位置にしてください。



③ 主クラッチレバーを徐々に握り、[入] (握る) 位置にしてゆっくり発進してください。



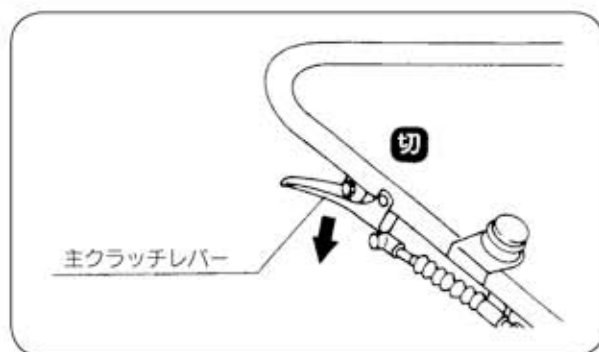
④ スロットルレバーを内側に回して、エンジンの回転速度を調節してください。



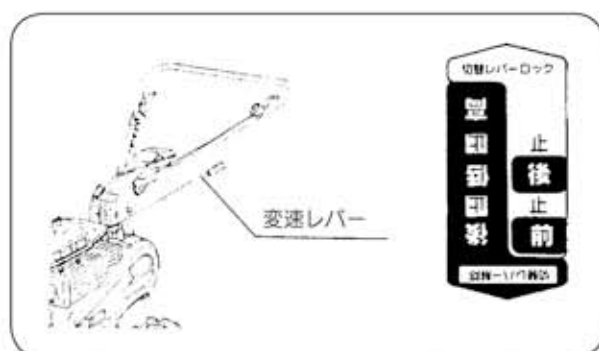
5 さあ、運転開始です

■5-3 変速のしかた

- ①主クラッチレバーを【切】(離す)位置にしてください。



- ②変速レバーを操作して、希望の速度にしてください。(変速レバーが入りにくいときは、ギヤの噛合いが悪いためですから、無理に入れようとすると、故障の原因になります。)主クラッチレバーを半クラッチ操作して、再度、変速レバーを操作してください。



■5-4 旋回のしかた



★前方ならびに側方によく注意して、人や物が巻込まれないようにしてください。

- ①ハンドルを振って旋回してください。
ハンドルを持上げて作業機等のアタッチメントを持上げると楽に旋回できます。



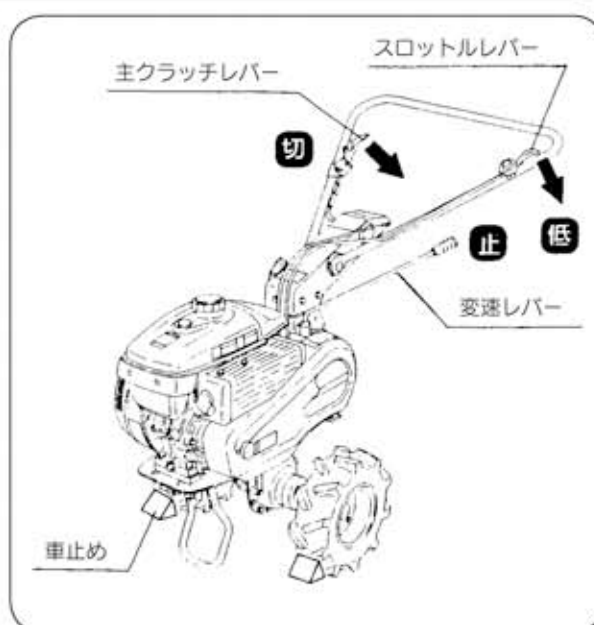
■5-5 駐・停車のしかた



警告

★機体から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。

- ①主クラッチレバーを離して【切】(離す)位置にしてください。
- ②変速レバーを【止】位置にしてください。
- ③スロットルレバーを【低(L)】にしてください。
- ④坂道や傾斜地では、安全のために車止めを車輪の前後に置いてください。



■5-6 トラック等への積込みと積降しのしかた



危険

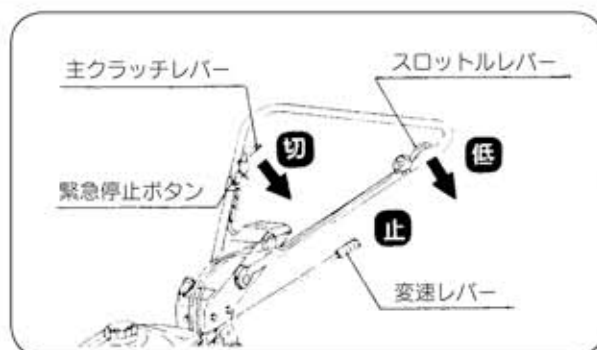
★あゆみ板の上では、絶対に主クラッチレバー、変速レバーを操作しないでください。転倒、転落の恐れがあります。

- ①平坦で安全な場所を選び、トラックは動かさないようにエンジンを止めて、ギヤを入れて、サイドブレーキを引き、車止めをしてください。
- ②あゆみ板(ブリッジ)は、車輪の幅よりも広く、長い板を使用し、ゆるい勾配にしてください。
- ③変速レバーを【低】位置にして、ゆっくり積込んでください。積降しの際は変速レバーを【後(R)】位置にしてください。
- ④トラックに本機を積んだら、ロープで確実に固定してください。
- ⑤燃料コックを【閉】位置にしてください。
- ⑥雨天のときはエアクリーナの吸込口にカバーを掛けてください。

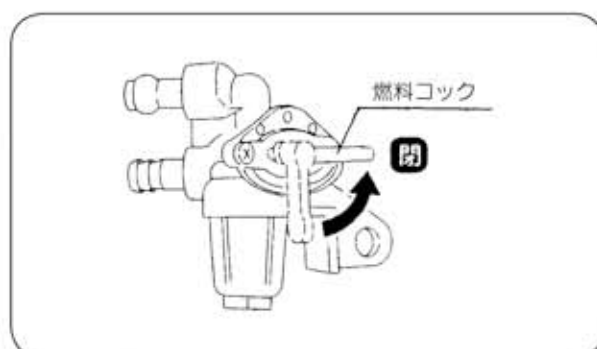
5 さあ、運転開始です

■5-7 エンジンの停止のしかた

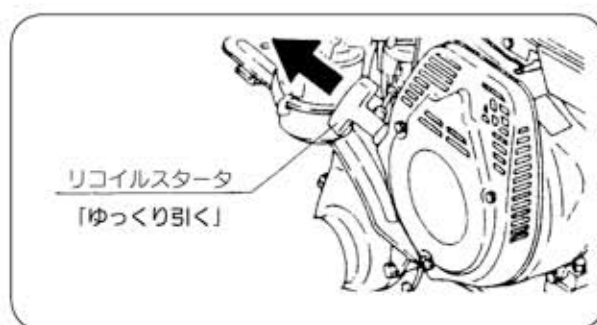
- ①主クラッチレバーを【切】(離す)位置にしてください。
- ②変速レバーを【止】位置にしてください。
- ③スロットルレバーを【低(L)]位置にしてください。



- ④緊急停止ボタン (ワンタッチ停止ボタン) を押せばエンジンはワンタッチで「停止」します。
- ★再始動するときは、ワンタッチ停止後5～6秒後に再始動可能回路が復帰しますので5～6秒まって始動してください。
- ⑤燃料コックを【閉】位置にしてください。



- ⑥リコイルスタータをゆっくり引いて、重たくなる位置 (圧縮位置) で止めてください。
- ★エンジン緊急停止ボタンを押せば、エンジンは止まりますが、通常は必ず上の手順に従ってエンジンを停止してください。



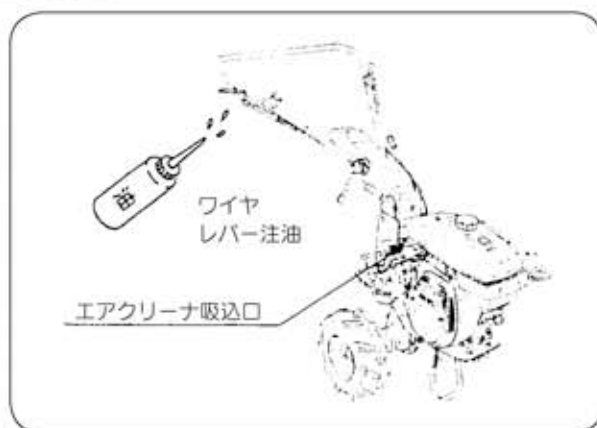
警告

★エンジン始動 (作業) 中、非常事態が発生したときに緊急停止ボタンを押して、機体全部を停止させ、不慮の事故を防止する緊急停止ボタンです。緊急停止ボタン使用後は、必ず主クラッチレバーを【切】、変速レバーを【止】位置に入れてください。

6 作業が終わったら、必ず手入れを

■6-1 作業をしたら、そのたびに手入れを

- ① その日の内に水洗いをして、水洗い後は、よく水分を拭取ってください。
エンジンは、水洗いをしないでください。
(エアクリーナ注入厳禁)
- ② ワイヤ、レバー等の回動、摺動部に注油してください。



■6-2 定期点検と整備



注意

★定期点検を怠ると、機械が故障したり安全性を損ないます。

点検・整備表

一般的な使用条件の下での点検・整備の項目とその時期

点検・整備の項目	点検・整備時間				
	毎運転時	25時間	50時間	100時間	随時
●エンジンオイルの点検と補給	○				
●エンジンオイルの交換		初回のみ○	○		
●ミッションオイルの交換			初回のみ○	○	
●エアクリーナの清掃	○				
●ストレーナの掃除			○		○
●点火プラグの点検・清掃			●		○
●レバー類の作動と点検	○				
●ベルトの点検と調整		●			○
●作動部への注油等	○				
●ボルト、ナットの点検	○				

●印項目は、高度な技術や工具等が必要ですので販売店に依頼してください。

(1) エンジンオイルの点検と補給

- ① オイルゲージを取外してください。
- ② きれいな布でゲージに付いている油を拭取り、もう1度給油口に差込み、油の量を確認してください。
- ③ 油の量が不足していたら、給油口から規定のエンジンオイルを静かに注入してください。

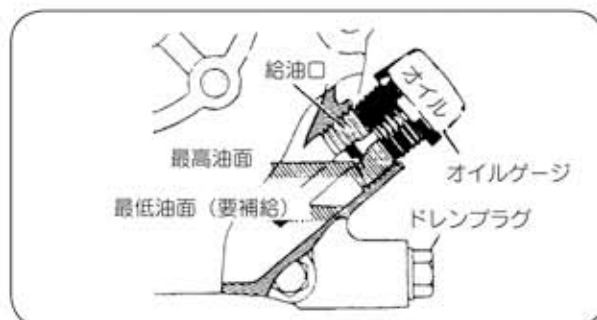
(2) エンジンオイルの交換



警告

- ★ 排出するエンジンオイルで火傷をしないように注意してください。
- ★ 必ず規定のエンジンオイルを使用してください。
- ★ 初回は少なくとも25時間機械を使用したら、オイル交換をしてください。

- ① ドレンプラグを外して、汚れたオイルを流し出してください。(エンジンが暖かい内に抜き取ると、オイルが抜けやすくなります)
- ② エンジンクランク室の給油口のオイルゲージを外してください。
- ③ 汚れたオイルが完全に無くなったら、ドレンプラグを確実に締付けてください。
- ④ エンジンを水平にしてください。
- ⑤ エンジンオイルを給油口からゆっくりと流し込んでください。
- ⑥ ときどき給油口にオイルゲージをねじ込まずに差込んで、オイルの量を確認してください。オイルゲージの最高油面レベルまでオイルを注入してください。
- ⑦ オイルゲージを確実に締付けてください。



◎使用オイル

SD級、SE級の良質の新しいオイルを使用してください。

夏期間～SAE-30・SAE10W-40

冬期間～SAE-20・SAE10W-30

◎オイル交換の量

本機型式	エンジン型式	オイル量
MC303AHYB1	GB131LN-390	0.5 ℓ

(3) ミッションオイルの交換



注意

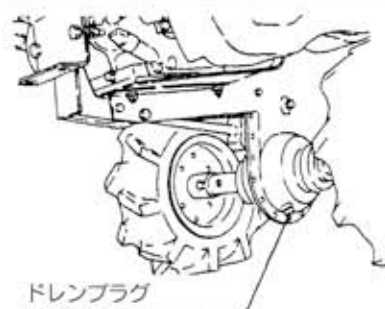
- ★必ず規定の良質ギヤオイルを使用してください。
- ★初回は少なくとも50時間機械を使用したら、オイルを交換してください。
2回目以後は1年に1回または100時間毎オイル交換してください。

◎オイル交換の量

ミッションオイル SAE90番

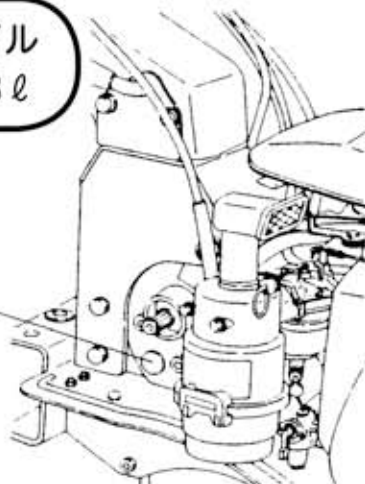
本機型式	ミッションオイル量
MC303AHYB1	0.8ℓ

- ① 廃油口のドレンプラグを外して、汚れたオイルを流し出してください。
(エンジンが暖かい内に抜取ると、オイルが抜けやすくなります。)
- ② トランスミッションの給油口の注油栓を外してください。
- ③ 汚れたオイルが完全に無くなったら、ドレンプラグを確実に締付けてください。
- ④ 機体を水平にもどしてください。
- ⑤ 給油口からミッションオイルSAE90番をゆっくりと流し込んでください。
- ⑥ 注油栓を確実に挿入してください。



ギヤオイル
#90 0.8ℓ

給油栓



6 作業が終わったら、必ず手入れを

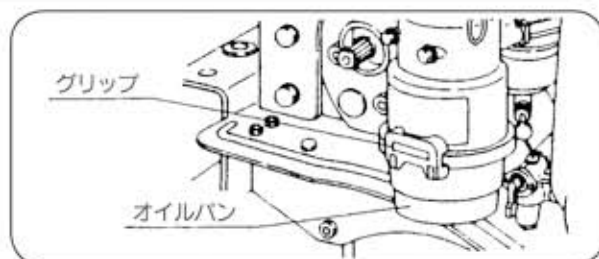
(4) エアクリーナの手入れ



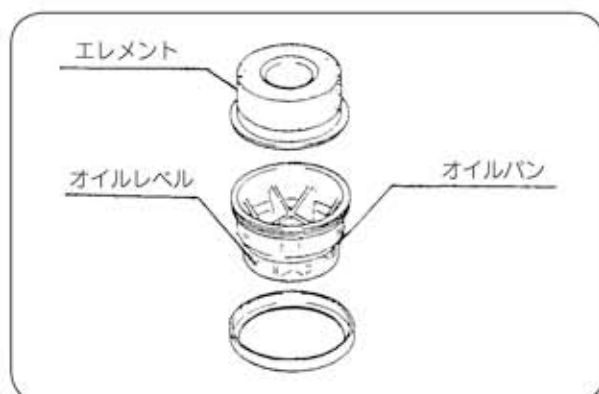
警告

- ★エアクリーナエレメントやエアクリーナのオイルが汚れていたり、オイルが少なくないませんか。
- ★エレメントが汚れたまま使用すると、エンジンの出力低下や故障の原因になります。
- ★エアクリーナの吸込口は、ホコリの少ない方向に向けてください。

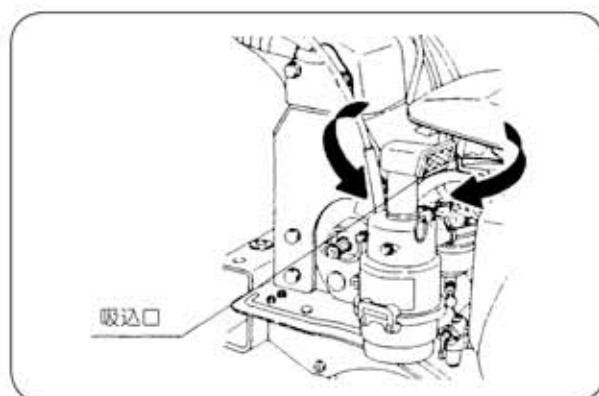
① グリップを外し、オイルパンおよびエレメントを取外してください。



- ② オイルが不足しているときは、オイルレベルまで補充してください。汚れがひどいときにはオイルパン・エレメント共、白灯油で洗浄し、エレメントはエンジンオイルに浸し、滴下しない程度に振り切ってください。
- ③ オイルパンはよく洗浄し、新しいエンジンオイル（SC級以上）をレベルまで入れてください。



④ エアクリーナの吸込口をホコリの少ない方向に向けてください。



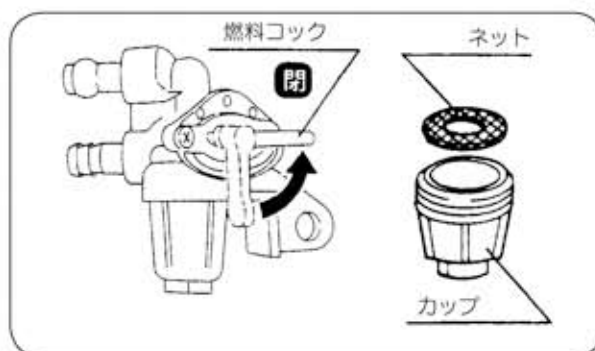
(5) ストレーナの手入れ



注意

★ストレーナに水やゴミが異常に多いときは、新しい燃料に交換してください。

- ①燃料コックを「閉」にしてください。
- ②ストレーナカップを取外して、そこに沈殿しているゴミや水を抜取ってください。
- ③ストレーナカップとネットを洗淨してください。



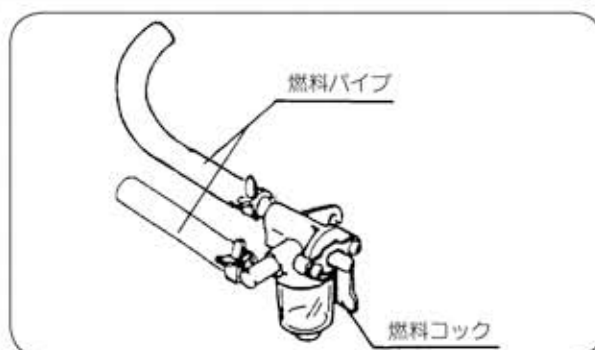
(6) 燃料パイプの交換



警告

★燃料パイプに傷などがあると、ガソリンが漏れて火災を起こすことがあります。
★高度な技術や工具等が必要ですので、販売店に依頼してください。

- ①自然劣化したり、傷のあるパイプは早めに交換してください。
燃料系統の部品は、たびたび点検し、ひび割れや漏れがないかを確認し、必要があれば交換してください。



6 作業が終わったら、必ず手入れを

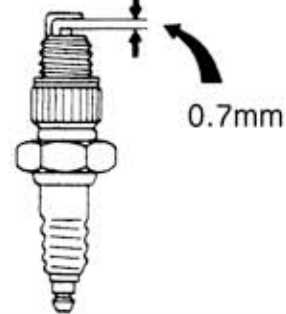
(7) 点火プラグの調整と交換



注意

- ★点火プラグの火花間隔は0.7mmが適正です。
- ★高度な技術や工具等が必要ですので、販売店に依頼してください。

- ①エンジンの調子が悪いときには、点火プラグに原因があることもあります。プラグを取り外し電極に付着のカーボンを取り除き紙やすりで磨いて、電極スキマを調節します。
- ②調整が終わったら点火プラグを元の位置にねじ込みプラグキャップを確実に差し込んでください。



点火プラグ品番

メーカー名	NGK	デンソー	チャンピオン
品番	BP6HS	W20FP	L66Y

(8) レバー類の作動点検と調整

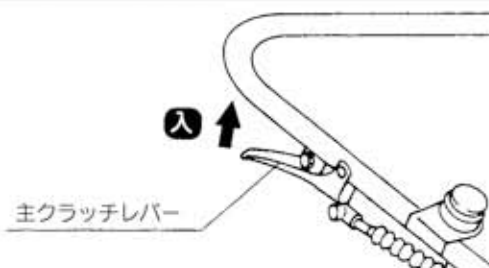
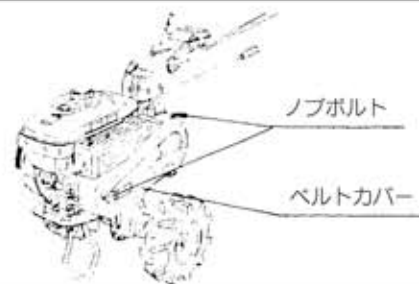


注意

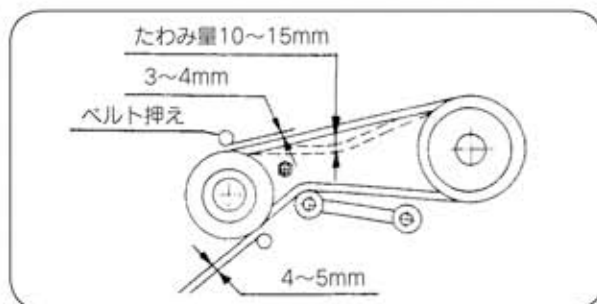
- ★レバー類を調整したら、必ず確実に作動するか確認してください。
- ★点検・調整のために取外したカバー類、ボルト、ナット類は必ず元の位置に取付けてください。

1) 主クラッチレバーのベルト調節

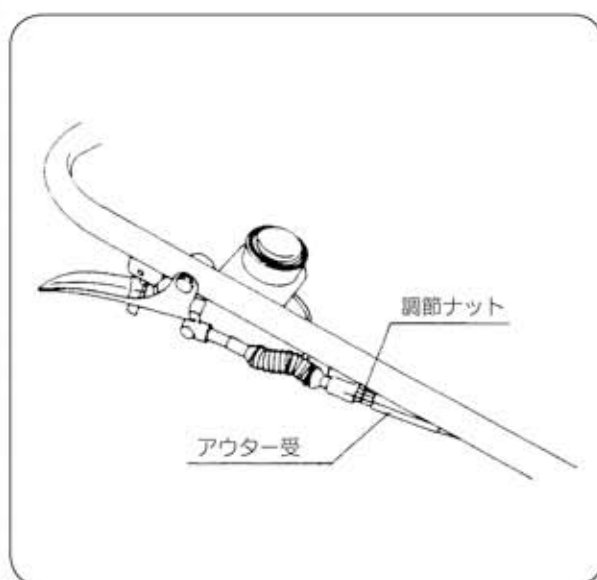
- ①ノブボルトを回してベルトカバーを取外してください。
- ②主クラッチレバーを【入】(握る)位置にしてください。



- ③ベルトの中央を指で軽く押さえて、ベルトのたわみ量が10~15mmになるようにし、またベルト押さえとベルトの間隔が5mm内外になるようにワイヤの調節をしてください。



- ④ワイヤの調節は、ワイヤの調節ナットを緩めてアウター受を回してアウターの長さを替えて調節をおこなってください。

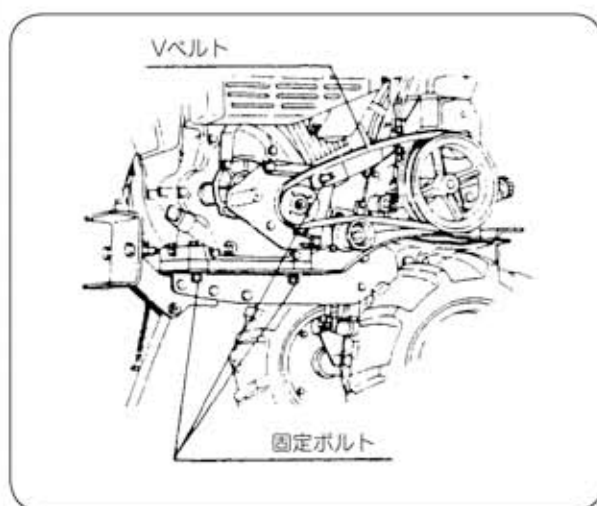


- ⑤調節ナットの調整だけでは、不完全な場合はエンジンを固定ボルトをゆるめエンジンの位置を前後に調整してください。

- ⑥ベルトの摩耗が著しいときや破損しているときは、ベルトを交換してください。
交換するときは、

LB-34...1本

- ⑦調整が終わったらエンジンの固定ボルトを確実に閉め、ベルトカバーを必ず取付けてください。

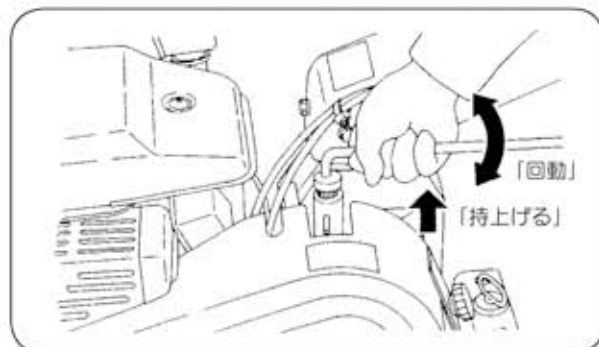


6 作業が終わったら、必ず手入れを

2) 変速レバーの調整と変速

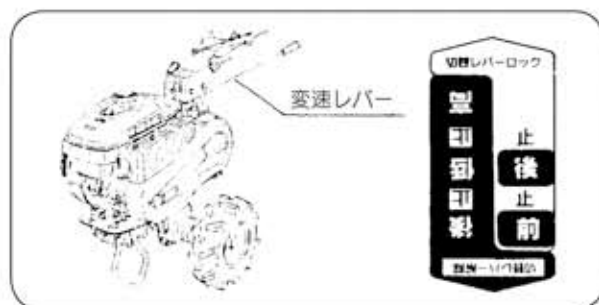
①位置の調整：

変速レバーは立て溝機構によって360度回転することができます。変速レバーを[止]位置にして、元部を持ち上げて、操作しやすい位置に回してレバーを離すと固定できます。ハンドルの最も操作しやすい位置にセットしてください。



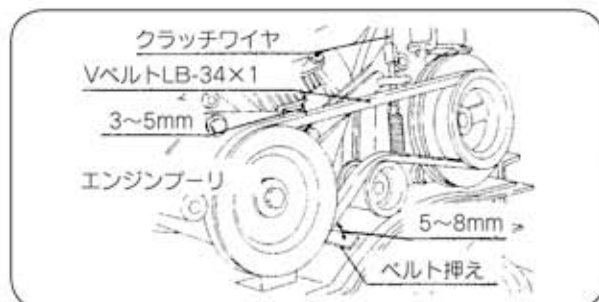
②走行速度の変化：（変速レバー）

前進2段、後進1段となっています。



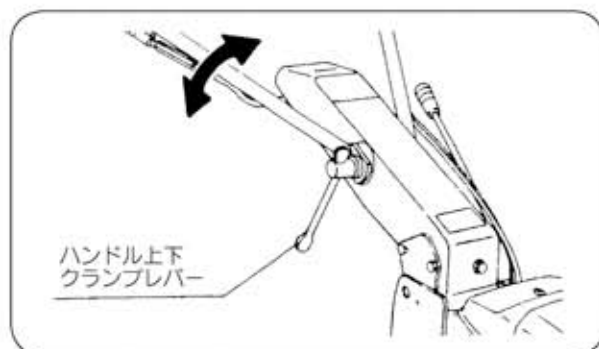
③変速範囲の変化：（ベルト掛替）

ベルトの掛替えにより変速範囲を変化してください。



(9) ハンドルの上下調整

作業者の背丈及び作業の種類に合わせても操作しやすい位置に調節してください。



(10) 注 油

- ①レバー類、軸受部、開閉カバーのリンク部分等の作動部には、油差しで注油してください。
- ②すべてのワイヤはワイヤを作動させながら注油してください。

(11) ベルトの交換

(高度な技術や工具等が必要ですので販売店に依頼してください。)

- ①新しいベルトに交換するときは、プーリに取付けたベルトの中央部を押さえて、その隙間が35mm内外になるように、エンジンを移動して調整してください。
- ②調整が終わったら、エンジンを固定すると共に、ベルトカバーを必ず取付けてください。

(12) タイヤの空気圧の調整

タイヤの空気圧は、高すぎても低すぎてもタイヤの寿命に影響があります。

- ①定期的に空気圧を調べて1.2kg/cm²に調節してください。

(13) 車輪の交換と車輪幅の調節

- ①作業に合わせて車輪を選び、左右の車輪の間隔をRピン・ホイールピンを取外して調節してください。
- ②標準のタイヤの他に、ゴムラグ車輪、カルチ車輪、マルチ車輪等の用意がされています。(販売店、営業所にお尋ねください。)

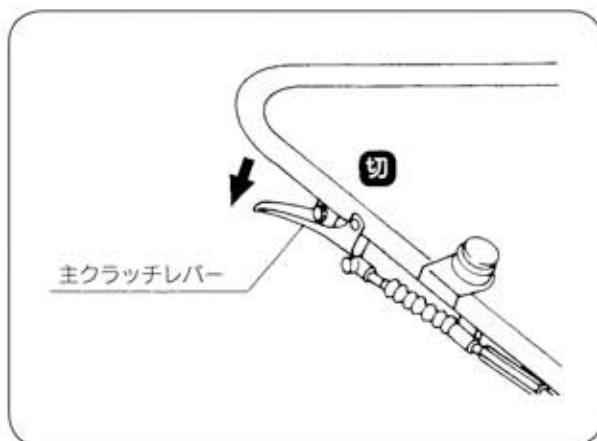
7 長期間使用しないときの格納のしかた

(1) 清掃、洗淨、注油

- ①車輪や作業機等に付着した泥、ゴミ、屑等は、よく落として水洗いし、水洗後は水分をよく取って乾燥してください。
- ②回転部、摺動部には、たっぷりとオイルを差してください。

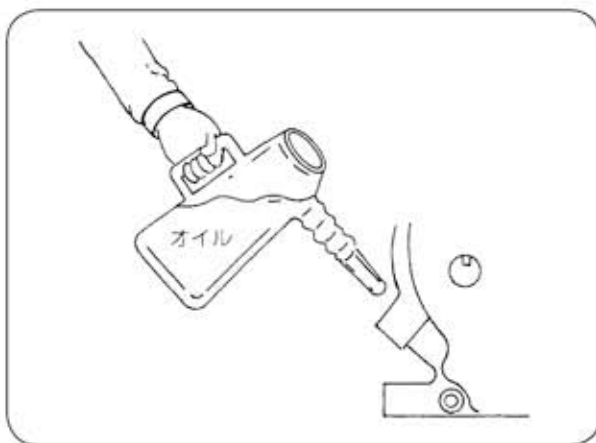
(2) クラッチレバー等

- ①主クラッチレバーは「切」（離す）にして、ベルトやバネに無理な力が加わらないようにしてください。



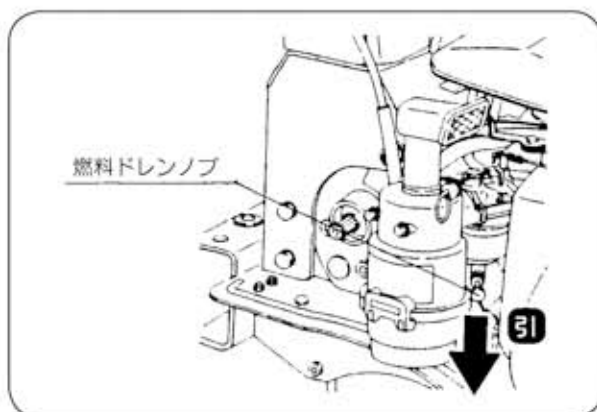
(3) オイル交換

- ①オイル交換の時期になっているときは定期点検の手順に従ってオイルの交換をしてください。



(4) 燃料の抜取り

- ①燃料を30日以上お使いにならないときは燃料の変質による始動不良等を防止するために気化器内と燃料タンク内の燃料を燃料ドレンノブを引き燃料を抜いてください。



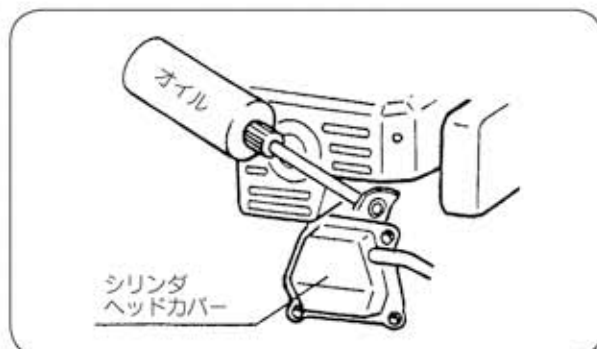
警告

★燃料の取扱いには十分注意
して下さい。

★火気厳禁

(5) エンジン

- ① 点火プラグを外して、シリンダ内にエンジンオイルを2~3cc注入し、リコイルスタータで数回まわして点火プラグを取付け、圧縮のあるところで止めてから、保管してください。
- ② 外面は油のしみた布で清掃してください。



(6) 格納

- ① 車輪の下には板を敷いてください。

8 不具合と対策方法



注 意

★エンジンの整備には、特別な工具やエンジンの専門工場でないといけないものがあります。

★使用者が整備できる項目とその対策のみを示しておきます。

不 具 合 内 容	対 策 方 法
<p>エンジンの始動不良</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 燃料を確認してください 燃料を規定量入れてください。 2. ストレーナのcockを確認してください cockを「開」位置にしてください。 3. 燃料が流れているか確認してください 燃料パイプの詰まりを調べてください。 (燃料ドレンノブを引く) 4. 燃料が良好なものかを確認してください 新しい燃料と交換してください。 (燃料ドレンノブを引く) 5. 燃料に水が混入していないかを確認してください。 ストレーナに水が溜まっていれば、水抜きをしてください。 (燃料ドレンノブを引く) 6. 点火プラグを確認してください <ol style="list-style-type: none"> ① 点火プラグが乾いているときは 燃料がシリンダまで流れていないので、その対策をしてください。 ② 点火プラグが濡れているときは 燃料の吸いすぎですので、プラグの湿りを拭取り、チョークを「開」位置にしてリコイルスタータを1～2回まわして、吸いすぎた燃料を排出してください。 エアクリーナを清掃してください。 ③ 点火プラグが不良な場合 新しい点火プラグと交換してください

不具合内容	対 策 方 法
エンジンの始動不良	<p>1.エアクリーナを確認してください 目詰まりを取るよう清掃してください。</p> <p>2.リコイルスタータのエアの入口が詰まってい ないかを確認してください 目詰まりを取るよう清掃してください。</p> <p>3.エンジンオイルを確認してください 補充、または交換してください。</p> <p>4.ベルトを確認してください ベルトが張りすぎているので、適正な張りにしてください。</p>
主クラッチレバー 始動不良	<p>1.ワイヤを確認してください ワイヤが伸びている場合が多いので、ワイヤを調整してください。</p> <p>2.ベルトを確認してください ベルトの張りを調整してください。</p>

★上記の対策をしてもトラブルが直らないときは、販売店にご相談ください。

9 標準付属品、オプション品、消耗品

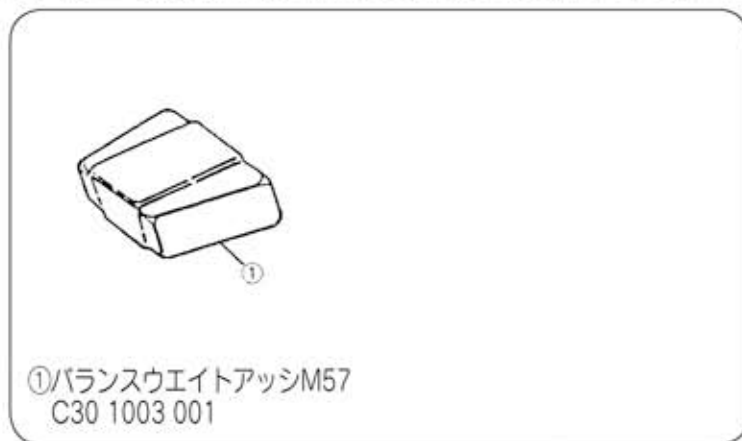
■9-1 標準付属部品

本機をお買い上げいただくと、下記の部品ならびに書類が付属部品となります。お確かめください。

取扱説明書…1 124 9003 002 	保証書…1 	ホイルピン…2 M26 1114 000 	Rピン10…2 9RP 1023 003 
キングピン…1 M26 0414 001 	スパナ10×13…1 9TL 1001 300 	スパナ17×19…1 9TL 1701 900 	ソケットレンチ…1 FA12004CA 
スクリュードライバー…1 KN13001AA 	エンジン取扱説明書…1 KN52053AA 	カルチソケットアッシ…2 C29 1101 002 	

■9-2 オプション部品

作業によってはバランスウエイトが必要な場合がありますので、同時にお求めください。



■9-3 消耗部品




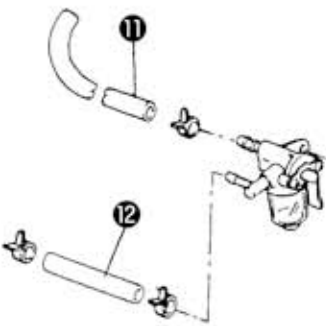
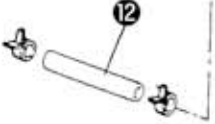
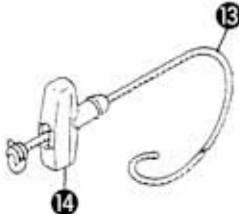

すべての部品は、材料を吟味し、適切なものを使用していますが、寿命がありますので、早めに部品を交換し、常に機械を最高の状態でご使用ください。消耗部品のうち代表的なものを下表にまとめてあります。品番を明記の上、ご注意ください。

(1) 本機関係

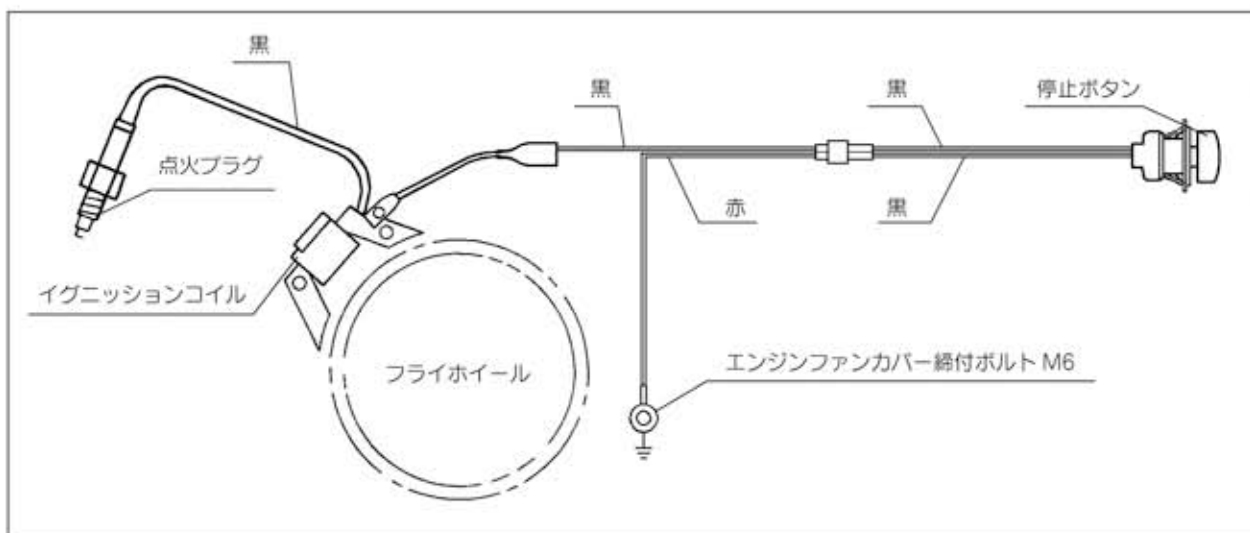
<p>①Vベルト (LB-34) 9VB 0340 003…1</p>	<p>②オイルシール (車軸) 9OS 3562 1914…2</p>	<p>③車軸ピン M26 1111 000…2</p>
<p>④Rピン 9RP 1023 003…3</p> <p>⑤キングピン M26 0414 001…1</p>	<p>⑥テンションワイヤ…………… 124 0833 000 …1</p> <p>⑦スロットルワイヤ…………… 146 0811 000 …1</p>	

9 標準付属品、オプション品、消耗品

(2) エンジン関係

<p>⑧ 点火プラグ KE41022AD(BP6HS)…1</p> 	<p>⑨ エアクリーナエレメント KA01069AA003…1</p> 	<p>⑩ フューエルフィルタ KF31018AA003…1</p> 
<p>⑪ 燃料パイプ (タンク～コック) PO51 Y 08×420…1</p> 	<p>⑫ 燃料パイプ (コック～キャブ) KF70058AA…1</p> 	<p>⑬ スターターロープ KS20080AD009…1</p>  <p>⑭ スターターノブ KS20080AD010…1</p> 

●電気配線図



10 特 長

[快適なエンジン]

低騒音、低振動で、しかも高出力のOHVエンジンを搭載して、強力で高能率な作業を快適にできるように配慮してあります。また軽い引張力でエンジンの始動ができるリコイルスタータを採用してありますので、ご婦人でもらくに指導できます。

[緊急停止]

ワンタッチでエンジンの停止ができる【緊急停止ボタン】を付けてありますので、より安全な作業が期待できます。

[コンパクトな機体]

機体のバランスがよいので安定性がよく、女性の方でもらくらくと作業ができます。

[らくらく操作]

すべてのレバー、スイッチ、ボタン等は手元に集中していますのでらくらくと操作ができます。

[多彩な車速]

前進速度は、ベルトの掛替によって4段階の変速ができます。
作業の種類によって好みの速度を選ぶことができます。

[上下自在なハンドル]

ハンドルが簡単に上下調節ができますので、圃場の状態や作業者の背丈に合わせて、安全に疲労を感じることなく、作業を能率よくおこなうことができます。

[幅の広い管理作業]

豊富なアタッチメントおよび車輪等が用意され、簡単に着脱できますので、あらゆる管理作業が可能になっています。

11 仕 様

型 式 名	マメトラMC-303			
区 分	MC303AHYB1			
名 称	ニュー牛若			
機 体 寸 法	全 長 (mm)	1,390		
	全 幅 (mm)	610		
	全 高 (mm)	875		
重 量 (kg)	62			
エ ン ジ ン	型 式 名	空冷4サイクルOHVガソリンエンジン		
	型 式 名	GB131LN-390		
	総 排 気 量 (cc)	126		
	定 格 出 力 (PS/rpm)	3.1/1,800		
	最 大 出 力 (PS/rpm)	4.4/2,000		
	最 大 ト ル ク (kg.m/rpm)	1.56/1,400		
	使 用 燃 料	自動車用無鉛ガソリン		
	タ ン ク 容 量 (ℓ)	3.0		
	始 動 方 式	リコイルスタータ		
機 体	ハ ン ド ル 形 式	ループハンドル		
	副 変 速 方 式	ベルト掛替え		
	タ イ ヤ	3.50-5		
	車 軸 径 (mm)	31		
	ホ イ ル チ ュ ー ブ (mm)	40		
	轍 間 距 離 (mm)	200~400		
	P T O 軸	低 速 (rpm)	800	
		高 速 (rpm)	2,000	
		P T O 軸 径 (mm)	17φ×15Z	
主 ク ラ ッ チ 方 式	ベルトテンション方式			
変 速 方 式	ギヤ選択方式 前進2段、後進1段			
変 速 段 数	前進4段・後進2段			

区 分	MC303AHYB1		
ハ ン ド ル 位 置	正 転		
ブ ー リ 変 速	ベルト掛替		
		低 速	低 速
走 行 速 度	低 (km/h)	1.8	4.5
	高 (km/h)	3.0	7.5
	後 (km/h)	1.3	3.2

※仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

MEMO



本社	〒363-0017	埼玉県桶川市西2丁目9-37	☎048(771)1181(代)	FAX048(771)1529
秋田工場	〒018-0134	秋田県にかほ市象潟町西中野沢字家の下2-3	☎0184(43)4160(代)	FAX0184(43)4120
秋田営業所	〒018-0134	秋田県にかほ市象潟町西中野沢字家の下2-3	☎0184(43)4121(代)	FAX0184(43)4120
山形営業所	〒994-0012	山形県天童市大字久野本3920-1	☎023(654)0681	FAX023(654)7387
福島営業所	〒960-0102	福島県福島市鎌田字一里塚1-1	☎0245(53)0885	FAX0245(53)6768
新潟営業所	〒940-1104	新潟県長岡市撰田屋町字崩2617	☎0258(23)1329	FAX0258(23)1354
長野営業所	〒388-8006	長野県長野市篠ノ井御幣川496-6	☎026(293)4888 2693	FAX026(292)0815
茨城営業所	〒310-0853	茨城県水戸市平須町新山1828	☎029(241)3751-3752	FAX029(241)3752
栃木営業所	〒322-0026	栃木県鹿沼市茂呂645-4	☎0289(76)0187	FAX0289(76)0069
群馬営業所	〒379-2111	群馬県前橋市飯土井町566-2	☎027(268)3119	FAX027(268)3862
中部営業所	〒501-6233	岐阜県羽島市竹鼻町飯柄370-1	☎058(393)0041	FAX058(391)3014
マメトラ四国機器(株)	〒790-0047	愛媛県松山市余戸町南1丁目23-18	☎089(973)2325	FAX089(971)2563

お客様メモ

購入日 平成 年 月 日

購入店名

124 9003 002
15216-01-0020